

山田学区

社協だより

第 51 号

発行
山田学区
社会福祉協議会



ごあいさつ

会長 中島 四郎

山田学区の皆様には、日頃より学区社会福祉協議会の諸活動に多大のご理解とお力添えをいただき、誠にありがとうございます。

十九年度も多くの皆様のご協力を得ながら無事に終えることができましたことを、心より厚くお礼申し上げます。

さて、事業の一環であります恒例のふれあいサロンを開催いたしました。東部地域、北部地域、南部地域での開催では、色紙を使って「ちぎり絵」を体験していただきました。今年の干支である「ねずみ」を雑誌のカラページを利用して、好みの色のところをちぎりながら仕上げていきます。皆さん和気あいあいと笑顔で取り組んでおられました。

学区全域の皆さんを対象に、ロクハ荘で開催したふれあいサロンでは、滋賀県警察本部のご協力を得て高齢者の交通事故事例の紹介と、交通

ルールを守ることの大切さを寸劇にて紹介していただき、楽しく交通安全について周知徹底をしていただきました。

ふれあいサロンは、六十五歳以上の在宅の一人暮らしと高齢者だけの世帯を対象に、ボランティアとの日常的なふれあいを通じ、孤立感の解消をはかり高齢者同士及び地域の人々とのふれあいの輪を広げていくことを目的に、各町の福祉委員の皆さんをはじめボランティアグループ、健康推進委員、日赤奉仕団の皆様のご協力を得て開催しています。

今後ますますふれあいの輪が広がり、居心地のよい居場所づくりが築いていきますよう取り組んでまいりたいと思います。

最後になりましたが、ご支援いただきました関係各位の皆様にご心よりお礼申し上げます。



ふれあいサロン 風景



福祉講座

渋川福祉センターにて

渋川福祉センターの「福複」
って何だろうと思いつながら、
渋川福祉センターにおじゃま
しましたのは、一月二十二日
のことです。



三階には児童・ティーンサービス
センターと発達障害者支援セ
ンターで、心身障害または発
達遅れのある児童に対し、
早期に専門的な療育を行
い、障害の軽減を図ると
もに、保護者への支援を行
うものです。

併せて市
民センタ
ー(公民館)をも一緒にし
た複合の施設ということ
でした。



果が期待で
きそうです。
当日は、
各施設の案
内をしてい
ただきなが
ら、見学の
あとで、一
階の喫茶コ

津市中心障害児者連絡協
議会が指定管理者として
運営する草津市立障害者
福祉センターです。障害
者がそれぞれの能力や適正に
応じて自立した生活を営むよ
うにと支援や訓練を行う施設
です。

ナーで昼食をいただきまし
た。この喫茶コーナーは障害
者の就労訓練の場をも兼ねて
いるとのこと。

平成十九年度 社会福祉協議会 賛助会員紹介

本年も草津市社会福祉協議会賛助会員への募集を十二月に実施いたしました。山田学区では、五十五社(名)のご協力を頂きました。

この会費は草津市および山田学区内の社会福祉協議会が主催する各種の催し物に有効に使わせていただきます。

ここに、山田学区内でご協力いただきました会員の皆様に厚くお礼申しあげ、ご紹介させていただきます。

(敬称略・順不同)

- (有)久泉豊店
- いた清
- 株アヤシロ
- 杉江工業所
- 株ナカイテクノ
- (有)横江製作所
- (有)田淵鋳金
- 横江鋳金塗装株
- 相撲ちゃんこ 大岳
- 株光真製作所
- 株中島歯車工業所
- 藤田工務店株

- 平井酒店
- 福盛教材
- 浜口自転車店
- 北山田診療所
- あけぼの食堂
- 焼肉 夕鶴
- 一品料理 悦ちゃん
- きよ香
- オートカム
- 居酒屋 きみちゃん
- お好み焼 田淵
- 中野製菓株
- 駒井工務店
- 喫茶 ソレイユ
- こまい酒店
- 園田瓦店
- 杉江酒店
- 広川電機株
- 株久泉エンジニアリング
- (有)馬場自動車
- 久泉 進
- (有)馬場工務店
- 堀井歯科医院
- 株テクノオーミ
- 膳所木材工業株
- 株ポーンフリー

- 山一産業株
- 久保水道
- 西本電気工事株
- 久保産業株
- (有)馬場建設
- サガミ 草津店
- 髪結 愛
- 魚八給食株
- (有)久保電気

- 平井自動車工業株
- コーナン商事株 草津店
- ジョーシン 草津店
- 株ハズイ食品店
- くにまつフードサービス
- 川那辺整骨院
- 佐山水道工業株
- 中川商店

ありがとうございました。

福祉委員研修会を終えて

福祉委員会委員長 山中秋夫

うらかな陽光の季節となりました。皆様におかれましてはご健勝でお過ごしのことと思います。

平素は、福祉委員の活動に御協力をいただきありがとうございます。

さて、去る一月十六日(水)

午前十時より新田会館「ほへみみの館」を借りし、福祉委員研修会を開催



させていただきました。

研修の内容については、「社会福祉協議会の活動について」のテーマで草津市社会福祉協議会の西本さんより研修を受けさせていただきました。私たちは福祉委員として学区内の高齢者の方々のお世話をさせていただいています。が、市社協及び学区社協がどんな活動をしているかほとんど知る機会がなかったと思います。今回の研修において、社協の役割、福祉委員の役目を知ることが出来たことは有意義であったと思います。私たちは人として、社会の中

で・地域の中で生活をして生きていますが、一人で生きていくことは出来ません。みんなが「しあわせになるために」支えあい・助け合い・みまもりあって暮らせる地域づくりが求められています。

山田学区社協の中で、福祉委員としていろいろな活動に参加をさせていただきました。その中で私が感じたことは、自分も楽しいと感じることが相手も楽しいと思えること、そして継続をすることがお互いの信頼関係を深めることに繋がること、最後に自分は福祉委員として高齢者とのつながりを持たせていただいています。一人で出来る限界があります。組ごとに班ごと、みまもり・支えあうなにかまづくり、組織づくりが必要だと思えます。行く道、来る道のなかで生きています。支えあい助け合う地域福祉活動を社協と共に福祉委員として活動を広げていきたいと思えますので、今後とも御協力を頂きますようお願いいたします。

友愛訪問

福祉委員会副委員長
仲川 眞二

友愛訪問は毎年十二月に実施されています。学区内に住まいのお一人暮らしの方(六十五歳以上)、九十歳をかえられた方(卒寿)、在宅で介護を続けられている方に各町内の福祉委員と民生児童委員さんで訪問をしています。

私の住んでいる木川町は、旧木川町の当時の世帯数から見ると、宅地開発が進み、他府県からの転入(世帯)者が数倍増加しています。そして核家族化が進み、お一人暮らし、高齢者世帯もますます増える傾向です。

今回も心ばかりの品をお届け

山田学区同和教育 合同県外研修

北芝をたずねて

今回の県外研修は、大阪府箕面市の萱野中央人権センターとその周辺の北芝地域に、昨年十二月六日五十八名の参加者で実施されました。

青春時代の家族との葛藤のなかでの貴重な体験談を「きつと笑って会える日」をテーマに、井上和子さんに講演いただきました。(六月に山田

けにありがとうございました。故郷へ帰郷されている方、息子(娘)さんの所に行かれるなどご本人が不在でなかなかお出会いきない方もありましたが、無事お渡しすることが出来ました。お届けさせていただいた折り、いろいろなお話をさせていただき、また、相談をしていただくこともあり、大変喜んでいただいております。

学区内全体でも、高齢化率が高くなり、地域の皆さんと共に、小地域の福祉ネットワークの輪を広げていきたいと思えます。

小でも講演がありました。

まちづくり協議会の方々の案内で、北芝地域の「コンテナハウス」での手作り物品販売、野外活動拠点の「芝楽ひろば」、高齢者支援の「萱野老人いこいの家」、こども達の自己表現のための職業体験場も兼ねたレストラン「お宝屋」等の各々の拠点を見学さ

ボランティア交流会の開催

山田学区ボランティア連絡協議会代表 藤井清忠

ボランティアアグループ相互の親睦をはかると共に、今後の活動についても話しあう機会になればと平成二十年三月十一日、山田市民センターに於いて開催いたしました。山田学区社協の協力を得て、草津市社会福祉協議会事務局長の岸本様を来賓に迎え、多数の会員の皆さんに参加を頂き、盛大なものとなりました。

まず「びわこ湖岸コハクチヨウを愛する会」の事務局長である吉岡美佐子様をお招きして、遠くシベリアの大地から飛来する渡り鳥のようすをお聞きしました。なかでも心

せていただきました。

地域内での四季折々の行事の開催、コミュニティビジネス、地域通過の活用など創意工夫で全員参加で実践し、地域内の「人」地域内の「もの」を調和させ、それを継続し課題解決の実現に取り組まれている姿勢に感銘を受けた一日でありました。北芝地区の取り組み、考え方を「わたし」や「わたしのまち」にそれぞれの立場でいかしたいものです。



ない釣り人の捨てた釣り具に身体を傷つけられたり、くちばしに輪がはまりこみ、餌が食べられなくなり衰弱していく白鳥を助けるために東奔西走し、その命を守られた話など、私達人間の何げない一寸した行為で、自然の中で生きる動物たちに大変な影響を与え、ひとつ間違えば死につながることもあると教えられ、大変感動いたしました。自然の餌場を求めやってくる渡り鳥たちのやすらぎの場や、他の動物のためにも、私達人間が自然を、環境を守り続けることが大切であると想いを新たにいたしました。

午後には滋賀大学の大学院生でボランティア活動をされている奥澤真理子さんより助けあい活動として「対話(話し相手になる)ボランティア」のお話を聞くことができました。毎日の生活の中で、いろいろな困難に出会った時に周りの方に支えてもらったり、逆に手助け出来ることがあればす

ることは、言葉では簡単に言えるが、実際に行うこと、そして続けることは大変なことだということです。また、参加の会員より、活動をしてい



るそれぞれ思いを聞き、集約をして、今後も研究課題として継続していききたいと語られました。当日いろいろとご協力をいただいた皆様、心よりお礼申し上げますと共に、いつまでも元気でそれぞれ分野でご活躍されますことを祈念いたします。

編集後記

農作物を作る高校生と食に関心がある高校生が、インターネットを通じてユニットを結成し、ごはん食日本一を競う「ごはんCUP2008」が今年も開催されます。「命の源となる食と農」とりわけ米・ごはんについて高校生が競い合い、その大事さについてじっくりと向きあうていくすてきな大会です。今こそ、お米の力見直したいですね。